

# 謹賀新年



一般社団法人  
群馬県造園建設業協会

会 長  
須永 敏明

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては新春を健やかに迎えられた事とお慶び申し上げます。

昨年は協会活動に対しまして多大なるご協力を頂き心より感謝申し上げます。また役員改選の年でもあり新たな体制でのスタートとなり、協会活動や造園業界、企業についても多くの意見が寄せられ活発な議論が出来るようになりました。会員の皆様の共通の利益に貢献出来るよう運営していきたいと思っています。

群馬県では八ッ場ダムやコンベンションホールの建設等の大型プロジェクトが予定されています。我々造園業者としては景観的な見地からも後世に誇れるものを造る事業に協力し、参画していけるように運動してまいります。

社会保険加入や若年技術者の確保・育成、伝統技能の継承等の難しい課題が山積しております。これらの課題に対して真摯に向き合い解決していく事が非常に重要であります。幸いにして造園団体協議会の活動も順調であり、協力体制が構築出来ました。これら共通の課題に県内の造園業者・団体が力を合わせて取り組んでいく事で改善されていくものと信じております。次世代を担っていく若い人たちが将来に希望を持てる協会になりますよう尽力してまいります。

結びに会員皆様にとって明るい健やかな一年になりますよう祈念して新年の挨拶といたします。



群馬県知事

大澤 正明

新年明けましておめでとうございます。群馬県造園建設業協会の皆さまには、すかすかしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、NHK大河ドラマ「真田丸」が、昨年の「花燃ゆ」に引き続き放送され、本県の魅力を県内外に発信することができました。スポーツの分野では、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックという世界の大舞台において、本県から出場した多くの選手が素晴らしい活躍をしました。さて、今年は、県政の新たな羅針盤である「第15次総合計画」がスタートして2年目を迎えます。人口減少が喫緊の課題として叫ばれる中「人・モノ・情報を呼び込む」という新たな発想で、群馬の未来を創生していかなければなりません。そのために、総合計画の主要施策である、西毛広域幹線道路や上信自動車道などの「7つの交通軸」の整備・強化や、「人・モノ・情報」を呼び込む拠点となるコンベンション施設の整備などにより、企業誘致や観光誘客を更に推進し、県内経済の活性化に努めます。また、災害に強い県土づくりとして、「防災・減災対策」を重点的に推進し、近年、頻発・激甚化する自然災害から、県民の命と暮らしを守るとともに、「安全安心な群馬県」への民間投資の拡大や移住定住の促進を図ります。県政の主役である県民の皆さまが安心して幸せを実感でき、将来にわたって住み続けたいような「魅力あふれる群馬」の実現に向け、「はばたけ群馬・県土整備プラン」に基づく社会資本整備を、着実に推進して参ります。今年は「花と緑のぐんまづくり2017in富岡・安中」が4月22日から5月21日まで、富岡市と安中市で共同開催されます。「シルクでつながる花の街」を開催テーマに、絹産業という共通の歴史で繋がる両市の魅力ある観光資源とともに、皆様の御協力のもと、美しい花と緑でたくさんの方をお迎えしたいと思います。結びに、この一年が県民の皆さまにとって健康で幸多い一年になりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

# 謹賀新年



群馬県議会副議長

橋爪 洋介

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと「変化」の一年であったと感じております。と同時に様々な課題や議論はありますが、我が国の「成熟度」ということも個人的には感じたものです。周辺諸国は「相変わらずの独裁政治」や「大統領が弾劾」という混乱し続ける国政。また、南の国では「裁判なしに容疑者が射殺される」。そして、太平洋の向こう岸の大国では「史上最低の大統領選挙」がありました。それらを思えば「わが国は相対的に成熟しているのかな」と思うようになりました。社会資本整備の状況に目を向けても、やはり、これほど細やかに住民ニーズに答えている（努力している）国は他にないと思います。とはいえ、戦後の復興、高度経済成長を遂げてきた国民性でしょうか、常に工夫と向上を考えて行かねばならないのが「日本人」なのでしょう。更には「政治的ねじれ」が解消されている今こそ、「景気回復・経済成長」を本格的に実行すべき時期ということもふまえると、政策的に社会資本整備を前に進める必要性は重要です。中沢・久保田両県議とともに顧問の末席を拝命しておりますが、人口減少社会の現在、未来の群馬県発展のためには「交流人口の増加」、「人口流出を防ぐ」ことが必須です。そのためにより魅力的な県土の発展が肝要であります。その中心的な役割を担う造園建設業者の皆様が一層活躍できるように知恵を出し、議会の場で発信して行くことを誠心誠意努力いたします。今年もご指導の程、お願い申し上げます。結びに、貴協会の益々のご発展を祈念しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



群馬県議会議員

中沢 丈一

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、リオのオリンピック・パラリンピックで日本選手団は輝かしい成績を残し、国民に感動と希望を与えてくれました。レスリング女子58キロ級で金メダルを獲得し、そして、4連覇達成で伊調馨選手は国民栄誉賞を受賞しました。中村智太郎選手は、キックのみの推進力で平泳ぎの銀メダルに輝きました。

晩秋、平山郁夫展を觀に富岡市立美術館に行きました。「シルクロードに行くキャラバン（西・月）」しばし、動けなくなってしまいました。十数年前、名古屋空港からウズベキスタンのタシケントに入りました、古い織機を使っているブハラ製の糸工場に行きました。古都サマルカンドの帰り、砂漠の一直線の道。満点の星に、サマルカンドの「月」を見ました。平山画伯と同じ月を見ました。シルクロード（天山北路）から正倉院。古代日本文化の交易路であります。11月中旬、企業誘致した会社を訪問しました。5次元の旋盤の説明を受けました。同時5軸加工とは、X軸・Y軸・Z軸・回転軸・傾斜軸をすべて同時に動作し、加工する事のように。日本は、技術革新をし、限界に挑戦しなければ生き残れないと断言していました。「守・破・離（しゅ・は・り）」を仕事で例えるなら、守は、自律的に作業を遂行出来ること。破は、作業を分析し改善・改良出来ること。離は、新たな知識（技術）開発出来ること、創造すること。今年、酉年。「生みの苦しみの年になる」という人もいますが、伝統を重んじながらも創造的な年にしてまいりましょう。皆様のご多幸をお祈りします。

# 謹賀新年



群馬県議会議員

久保田 順一郎

平成29年の新春をお健やかに迎えのことに拝察申し上げます。

さて、昨年は、近年の各年度に比べ国内外共に時代の変移を彷彿させる様々な事象が発生しました。まさに移り行く世相に本年の動向や傾向を予感させる象徴的な事象が多くあったのではないかと思います。

海外でのリオ・オリンピックでの躍進と感動は、4年後に東京オリンピックを控える日本にとって、その後の若いアスリートの出現は、今後にその活躍に胸膨らませるものとなりました。

一方、国際社会では米大統領に共和党トランプ候補が当選したことは、その不確実性に世界中が驚いた出来事ではないかと思います。まさに「アラブの春」以降の国際社会の変動の波が自由主義社会に「ポピュリズム」をベースとした波として押し寄せ、これまでの民主主義社会の既成概念や価値観が大きく揺れ動く時代に入ったものと思われます。フィリピンのドゥテルテ大統領の出現、ブラジルのルセフ大統領弾劾の失職、韓国のパク大統領の失脚など英国EU離脱や押し寄せる難民問題と、欧米での・アジアでの話だからと済まされない時代に入ったのではないかと思います。

国内では熊本・鳥取地震などの災害や東北直撃の台風10号などの自然環境の変動を懸念させる災害が発生しました。また、経済面では日銀のマイナス金利政策や18歳選挙権のスタートなど制度・政策に大きな変化を迎えています。中国の南沙諸島の独断的横暴は貿易

立国日本にとって南シナ海の制海権に深刻な障害と足かせとなることは自明のことです。深刻な人口減少時代、医療・福祉関係事案は深刻化する一方です。将来の子供達のためにも憲法改正論議は直視しなければなりません。

昨年も申し上げました。毎年ノーベル賞受賞者を輩出する「日本ブランド」が健在であることは、誠意と誠実さを基調とした教育と日本の精神文化がこれを支えている事を忘れてはならないと思います。

最後に、本年も皆様にとって実り多い年でありますよう祈念し、地元群馬県の発展のため、皆様と共に取り組んでまいりたいと思います。今後ともご指導・ご鞭撻を引き続きお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

